

# 経営革新計画の承認を得て 販路開拓を加速

## 課題

### 食品表示に対応する パッケージマシン導入が急務

昭和24年に株式会社室伏敬一郎商店として穀類販売業に着手したことに始まる株式会社ムロフシ。平成10年に現社名に変更して、穀類、麺類販売のほか、食品加工機械の製造販売、麺類製造に事業を拡大してきた。

同社の麺製品は、地元の農・海産物を練り込み、また、自社で開発した製麺用ミキサーや特殊麺帯機を用いて、他メーカーにないコシ・弾力を実現。賞味期限も90日と長い。さらに高品質で小ロット・多品種の製造対応が可能で、大手スーパーや道の駅、ラーメン・そば・うどん店、さらに食品製造会社からオリジナル製品の受注も多い。

もっとも、地元飲食店では自家製麺の使用が流行となっていることもあり、受注は頭打ち傾向を見せている。また地元農・海産物を練り込んだオリジナル麺の受注は安定しているもののヒット商品の誕生には至っておらず、量産化には達していない。

そこでホームページの更新、バージョンアップを図るためのITに強い従業員の採用や、食品表示法に対応するためのパッケージマシンの導入が懸案となっていた。とくに現在は、地域ブランドの丹那牛乳とのコラボレーションによる新製品・ミルクラーメンを開発しており、その販路拡大のためにもパッケージマシンの導入が急がれていた。

## 支援

### 新商品の開発を踏まえて 経営革新計画を策定

そこで長泉町商工会では、同社のミルクラーメン開発を踏まえ、経営革新計画の策定を支援。これにより同社は、平成30年に経営革新計画の承認を受ける。

この新製品の特長は、丹那牛乳の全粉乳をラーメン生地に練り込むことで、独自の麺のコシ・弾力が生まれ、さらにスープにも全粉乳を配合することで、ポタージュのような滑らかさが実現されていること。こうした試みは丹那牛乳と商標権使用許諾の契約を結んだ同社ならではの強みとなると考えられる。ちなみにこの新製品は、支援開始時点で試作品まで完成しており、生産提供体制にもまったく問題はないと考えられた。

また地域ブランドである丹那牛乳とのコラボレーションに



自社開発した製麺ミキサー

より、知名度、信用度も向上すると判断される。具体的には丹那牛乳の酪農王国「オラッチェ」の販売網の紹介、さらに同社の顧客、市場にも販路が広がると考えられる。

そこで商工会では展示販売会を紹介し、平成30年6月に参加したが、さらに、商工会チャレンジショップなどにも参加を促していく。こうした活動とともにホームページ、SNSによるPR力の強化、各種展示会、商談会への参加により、より強力に販路を拡大するとともに、一般消費者へのアピールも推進していく。

#### 支援の経過

期間	支援内容
H30年5月	ヒアリング、経営革新計画の策定支援
6月	経営革新計画の承認

#### 会社概要

会社名：株式会社ムロフシ  
 所在地：静岡県駿東郡長泉町下土狩595  
 電話番号：055-986-0336  
 URL <http://www.murofushi.co.jp>  
 代表者名：代表取締役 室伏芳昭  
 創業年：昭和24年  
 年間売上高：2億5980万円（平成29年）  
 従業員数：19名  
 商工会名・担当者名：長泉町商工会・芹澤潤